



町では、平成20年12月に「せたな町立国保病院改革プラン」を策定し、さまざまな病院改革に取り組んでまいりました。平成23年度の国保病院改革プランの実施状況と、せたな町医療等対策審議会からの評価についてお知らせします。



■プランの実施状況

せたな町医療等対策審議会の評価
(内容は原文から抜粋しています)

1 経営の効率化についての評価

経営の効率化については、看護配置基準の見直しにより診療報酬が2378万円増収したものの、医業収益は、対前年度比109.3万円減収し、医業収益の増収に務めるよう望むものである。また、今後も看護体制の維持を図ることが必要である。ソーシャルワーカーの配置については、入院・外来患者、家族からの相談件数が、配置した平成21年に比べ増え、患者、家族に承知された結果と評価できるものである。今後も医療機関、特別養護老人ホーム等の福祉施設

からの受け入れ対応や多岐にわたる相談には、今まで以上に親身な対応を望むものである。常勤医師の確保については、平成22年度常勤内科医師2人を採用し、更に平成23年度は1名の内科嘱託医師を補充、医師の当直等の負担軽減など診療全体の安定化と信頼性の確保に努めているが、今後においても常勤医師の確保を最重要課題として一層努力されたい。

一般会計からの繰り入れ措置については、1億4000万円が町単独で措置されているが、町立国保病院へは、1億5000万円繰り入れ措置を講じた結果、累積欠損金(平成23年度末)は1億3305万円となっており前年度よりも減少したが、引き続き、病院・診療所に対する繰り出し基準の充

2 財務内容改善に係る数値についての評価

財務内容の改善については、経常収支比率が100.8%となったが、町からの基準外の繰り入れ措置による要因が大きいことから、一層の経営改善を望むものである。病床利用率については、現行の交付税制度が許可病床数に基づいて交付される仕組みとなっており、今後は国の病床削減方針等の動向を見極めて判断するとして考え方は妥当であると考えられる。

職員給与費対医業収益比率については、医師の定着化により臨時医師等の賃金は削減となったが、比率は前年度を上回っており、今後は目標数値に達するよう努力されたい。

時間外受入患者数は、年間1116人、うち救急搬入患者数は、261人で前年度に比べ横ばいの患者数であったが、医師・看護師等スタッフの確保を含め一層の救急体制の確立を

望むものである。なお、コンビニ受診を抑制するために町民への啓蒙を図るべきである。

3 再編・ネットワーク化による計画についての評価

救急患者の輸送体制を含めた医療連携については、近隣病院との連携のほか、二次医療圏である八雲総合病院、専門性の高い三次医療機関との連携についても、一層の強化を必要とする。当面は、一次医療を堅持しながら病院運営を図るべきである。

4 経営形態見直しに係る計画についての評価

経営形態の見直しについては、医師の確保がどうかにかかっているが、平成23年度末では、常勤医3名、嘱託医1名の4名体制であり、今後も医師確保を最優先課題とし、病床利用率低下による入院病床数の見直し等を含め検討を要するが、当面は現在の経営形態を維持するよう努めていただきたい。

5 総合的な所見

せたな町立国保病院改革プランについては、平成23年度末での黒字化の達成により、総合的には一定の成果を挙げたものと評価するが、基準外繰り入れによる要因が大であり、依存度が年々高くなっていることから、次年度以降も職員が一丸となって更なる経営改善に取り組みむことを強く望むものである。

今後も町民の医療ニーズ等を総合的に勘案しながら、安定的に医療サービスが提供できるよう、国保病院を中心に瀬棚、大成診療所が連携し、医療体制を構築する必要がある。

■財務内容改善に係る数値目標と実績

項目	目標数値	平成23実績	説明
経常収支比率	100%以上	100.8%	(経常収益/経常費用) × 100 経常収益 8億7,508万円 経常費用 8億6,826万円
病床利用率	70%以上	一般 53.9% 療養 33.7% 全体 45.8%	(年延入院患者数/年延病床数) × 100 年延入院患者数 16,251人 年延病床数 35,502床
医業収支比率	80%以上	70.7%	(医業収入/医業費用) × 100 医業収入 6億1,287万円 医業費用 8億6,721万円

■病床数・患者数等の推移 (歯科を除く)

	平成21年度 (実績)	平成22年度 (実績)	平成23年度 (実績)
病床数	97床	97床	97床
病床利用率	48.8%	48.8%	45.8%
入院患者数	17,294人	17,274人	16,251人
外来患者数	27,892人	27,932人	27,217人
1日平均入院患者数	47.4人	47.3人	44.4人
1日平均外来患者数	115.3人	115.0人	111.5人
経常収支比率	103.2%	98.6%	100.8%

■平成23年度の時間外救急患者数

時間外患者数	うち休日	救急車での搬入患者数	地区別			
			北檜山区	瀬棚区	大成区	町外
1,116人	(71.1%) 794人	261人	(46.0%) 120人	(35.2%) 92人	(17.6%) 46人	(1.2%) 3人

※平成23年度の救急車出動件数 480件 (3区合計)
※救急告示病院として、365日24時間受け入れ体制を今後も維持します。

■一般会計等からの繰入金金の推移

単位：千円

	平成21年度 (決算)	平成22年度 (決算)	平成23年度 (決算)
繰入金 (交付税含む)	272,440	295,094	301,098
上記のうち町一般財源分	58,722	72,161	105,000